



第27号

発行所 近畿大学農学部緑友会 広報・編集委員会 編集委員長 光永 靖 631-8505 奈良市中町3327-204 TEL: 0742 (43) 1511 http://www.nara.kindai.ac.jp/

### 卒業生のみなさま、気軽に農学部にお越し下さい

緑友会会長 森 本 正 則



にアピールする機会となる学内での会社説明会への積極的な参加をお願いしたいと思います。また、ここ農学部を卒業生のコミュニケーションのハブとして位置づけ、卒業生同士の情報交換やビジネスの場として積極的に活用頂きたいのです。ポストコロナには、卒業生のみなさまが積極的に農学部を訪問して頂けることを期待しております。今後とも緑友会活動へのご支援ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

### 大学における専門教育と倫理観の涵養

副学長・農学部長 江口 充



君の反応も上々です。ただ、メディア授業にも大いに利点がありますので、今後は対面授業とメディア授業のベストミックスを考え、大学教育システムの高度化を図りたいと思います。

緑友会の皆様におかれましては、厳しい社会情勢のなかですがお元気で過ごすごのここと拝察いたします。

話は変わりますが、ロシアがウクライナに軍事侵攻しました。様々な歴史的背景があるかとは思いますが、許される暴力行為です。これは詰まるどころ、人としての倫理観の欠如に起因します。「倫理は選択科目ですが人生における必修科目です」。これは漫画の主人公（高校教師）のセリフです。大学でも専門教育に加えて、倫理観の涵養という点にもより配慮した教育システムの構築を目指さなければいけないと考えております。

### 農学研究科の近況

大学院農学研究科長 川崎 努



農学部緑友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。今年度からは、対面での開催が増加すると思われ、学会において表彰されております。これからも、大学院生を中心にして注目される研究を展開し、皆様へ良いニュースをお届けしたいと思っております。今後とも、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

院生を対象とした新たな経済的支援体制を構築しました。今後、農学研究科が、さらに発展していくことを期待しております。

昨年度の修士論文発表会や多くの学会では、コロナウイルス感染症のため、研究発表がオンライン開催となっておりました。今年度からは、対面での開催が増加すると思われ、学会において表彰されております。これからも、大学院生を中心にして注目される研究を展開し、皆様へ良いニュースをお届けしたいと思っております。今後とも、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

### 大学創立100周年に向けて

事務長 仲上 徹



農学部緑友会会員の皆様におかれましては、日頃から本学の教育研究活動に多大なる

ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のご卒業された近畿大学も今般のコロナ禍に対し、希望する学生教職員等へワクチン職域接種や抗原検査を行うなど、出来る限りの安全安心の対策を行い活動しております。

そのような中、2022年度は近畿大学の一般入試志願者数も4年ぶりに増加に転じ、15万7千人余りとなったほか、15番目の学部となる情報学部が東大阪キャンパスに開設されるなど、ますます社会からの注目をいただいているところであります。

農学部では施設面で、2021年11月に教室棟、新教室棟のWiFi環境を増強しました。学生に対してはBYOD (Bring Your Own Device) を推奨しておりますが、このことにより、全ての教室で個人のパソコンを利用して授業を受けることのできる環境が整ってきており、キャンパス内での学習環境はますます向上しております。また、課外活動の拠点となるクラブハウスも2022年3月に改修工事を完了しました。学生生活を豊かなものにしてもらえると期待しております。今後、教育研究環境の充



実にご進捗してまいりますので、農学部緑友会会員の皆様におかれましては引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。最後に、近畿大学は2025年で創立100周年となります。多目的ホール「つながる館」をはじめとする記念事業を行っておりますので、何卒ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

懇親会では、卒業生同士の情報交換・交流の場のみならず、農学部に関係の深い方の講演会などを企画しております。この機会に令和2年秋にオープンした新棟「つながる館」にも足を運んで頂きたいです。懇親会には、現任教員も参加いたしますので、大学と卒業生が「つながる」きっかけを提供できるのではないかと期待しております。また、ビジネスのみならず、この機会を同窓会のご利用としてご利用いただけます。その際は緑友会ホームページやFacebookにてお知らせいたします。

## 令和4年11月3日(祝) 懇親会を開催(予定)

令和3年度、近畿大学農学部緑友会懇親会の開催を予定しておりましたが、感染症対策の為、延期致しました。

懇親会では、卒業生同士の情報交換・交流の場のみならず、農学部に関係の深い方の講演会などを企画しております。この機会に令和2年秋にオープンした新棟「つながる館」にも足を運んで頂きたいです。懇親会には、現任教員も参加いたしますので、大学と卒業生が「つながる」きっかけを提供できるのではないかと期待しております。また、ビジネスのみならず、この機会を同窓会のご利用としてご利用いただけます。その際は緑友会ホームページやFacebookにてお知らせいたします。

今後の社会情勢によっては中止させて頂く場合がございます。その際は緑友会ホームページやFacebookにてお知らせいたします。

### 令和3年度 緑友会賞一覧

#### 博士後期課程

専攻	氏名	論文題目
【最優秀賞】 環境管理学専攻	瀬古 祐吾	アリ類の集団的な採餌行動と運動性薬剤ベイトへの応答との関係
【優秀賞】 農業生産科学専攻	三田 清華	Redefining horticultural therapy toward integrative medicine and building its framework (統合医療に向けた園芸療法の再定義とそのフレームワークの構築)

#### 博士前期課程

専攻	氏名	論文題目
農業生産科学専攻	岩崎 章太	イチゴうどんこ病菌における分生子柄形成過程の連続観察
	森 菜美子	トウガラシにおける新規ベゴモウイルス抵抗性遺伝子の単離
水産学専攻	都 築 暲斗	数種海産種苗の光誘導による行動制御法の開発
応用生命化学専攻	池田 和弘	除虫菊のピレスリン生合成酵素類に関する研究
	高木 敬信	清酒醸造における香り成分と酵母イソプロピルリンゴ酸合成酵素活性との関係性
	辰巳 鮎香	抗菌活性を有するフッ素含有ナフトキノ類縁体の構造活性相関研究
環境管理学専攻	八嶋 勇気	福井県中池見湿地におけるドジョウ2種間に成立する生殖隔離様式の解明
	田村 優樹	ギ酸酸化性菌の探索とシングルセルプロテイン生産に向けた基礎的検討
バイオサイエンス専攻	西尾 優作	イネ免疫反応におけるPUB44を介したWRKY45制御機構の解析
	安部 朴二郎	イネGH18キチナーゼ様キチナーゼ阻害タンパク質OsHI-XIPによるいもち病菌キチナーゼの阻害様式に関する研究

学科の近況

農業生産科学科

学科長 種坂 英次



当学科では、本年3月末、寂しいことですが林孝洋先生がご退職になりました。林先生には10数年間にわたり園芸療法士資格取得コースを主導いただきました。一方、嬉しいこととして、花卉園芸分野に新たに山崎彬先生をお迎えしました。また、園芸植物学分野の神崎真哉先生が教授に昇任されました。カリキュラムでは新たに「実践型先端農業実習」を追加し、社会の要請に対応した人材育成を目指しています。この2年間続いたオンライン授業から、全面的な対面授業に切りかわり、キャンパスもようやく賑わいを取り戻しています。卒業生の皆様には健康に留意され、今後とも貴重なご意見とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

水産学科

学科長 安藤 正史



当学科では、令和4年3月をもって25年間に渡り水産学科を支えてこられた塚正泰先生が定年退職され、後任として令和4年4月より田中照佳先生が着任されました。田中先生は食品素材による病気の予防を専門にされています。昨年度は新型コロナウイルスも2年目となり、教員はリモート講義や会議にだいぶ慣れました。一方、令和4年度の3年生は入学以来、2年間に渡りほぼ大学生活を送るという大変厳しい状況ではありましたが、令和4年4月よりいよいよ研究室に所属し、卒業研究活動を開始しました。まだまだ不安定な日々が続いており、卒業生の皆様には今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



応用生命化学科

学科長 上垣 浩一



当学科では、114名の新生を迎え、新年度をスタートしました。森林生物化学研究室の梅澤真哉先生が講師に昇任されました。今まで通り、6研究室で研究・教育に従事しています。昨年度もコロナ禍のため、オンラインの併用が余儀なくされ、完全な対面での授業実施は出来ませんでした。しかし、新年度になり、授業も原則対面となり大学にも活気が戻ってきました。特に、実験実習は教育効果も勘案すれば対面がよいとの意見が多く、このままコロナ禍が終わってほしいと望むばかりです。今後とも緑友会の皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

食品栄養科学科

学科長 近藤 高史



当学科では、今春に新入生85名、佐久間圭一朗教授(生体機能学研究室)、濱田希契約助手、および岡林優里契約助手を新たにお迎えしました。また、森島真幸先生(公衆栄養学研究室)が准教授に昇任されました。一方、3月末で上嶋繁教授、南朝子契約助手、玉手杏葉契約助手が退職されました。2月末に行われた第36回管理栄養士国家試験では、新卒業生84名が受験し81名が合格しました(合格率96.4%)。この値は、全国平均(新卒)の合格率92.9%よりも3.5%高いものとなりました。今後も教員一丸となって研究・教育に邁進し、社会に貢献する人材を育成します。ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

環境管理学科

学科長 松本 光朗



当学科は、今年度、水圏生態研究室に宮崎佑介准教授を迎え入れました。宮崎先生は魚類学を専門とし、社会活動にも積極的に取り組んでいます。特に、著書「はじめての魚類学」は、魚好きの生徒・学生、一般の方を対象とし、魚の知識だけではなく、つかまえる方、飼育方、標本の作り方など幅広く説明しています。まさに当学科にふさわしい宮崎先生の活躍を期待しています。

また、当学科は、以前より奈良キャンパス活動の特徴として、その中で里山活動を取り入れる「里山インストラクター」はこれまで学科の資格でしたが、昨年度より学部資格となり他学科からの参加が可能となりました。これにより、さらに里山活動を進めたいと考えています。今後とも、卒業生の皆様にご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

学科研究室・教員

農業生産科学科

- 作物学 (飯嶋 盛雄・山根 浩二・廣岡 義博)
● 育種学 (種坂 英次・柴山 拓司)
● 園芸植物学 (神崎 真哉・小枝 壮太)

- 植物感染制御工学 (松田 克礼・野々村 照雄)
● 昆虫学 (香取 郁夫・米谷 衣代)
● 農業経営経済学 (増田 忠義・大石 卓史)
● 花卉園芸学 (細川 宗孝・山崎 彬)

水産学科

- 水産増殖学 (澤田 好史・石橋 泰典・亀甲 武志)
● 水産生物学 (小林 徹・小林 靖尚・渡邊 俊)
● 水族環境学 (江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)

- 漁業生産システム (光永 靖・鳥澤 眞介)
● 水産利用学 (安藤 正史・福田 隆志・田中 照佳)
● 海棲哺乳類学 (酒井 麻衣)
● 水産経済学 (多田 稔)

応用生命化学科

- 応用微生物学 (上垣 浩一・倉田 淳志)
● 食品微生物学 (白坂 憲章・福田 泰久)
● 応用細胞生物学 (森山 達哉・財満 信宏)

- 生物制御化学 (松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)
● 生命資源化学 (飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
● 森林生物化学 (板倉 修司・梅澤 究)
● 学科共通 (吉岡 佐知子)

食品栄養科学科

- 栄養教育 (川西 正子・明神 千穂)
● 臨床栄養学 (木戸 慎介)
● 病態栄養学 (伊藤 龍生)

- 公衆栄養学 (森島 真幸)
● 給食経営管理学 (富田 圭子)
● 生体機能学 (佐久間 圭一朗)
● 栄養機能学 (増田 誠司・竹森 久美子)
● 食品化学 (近藤 高史)

環境管理学科

- 水圏生態学 (北川 忠生・宮崎 佑介・河内 香織)
● 生態系保全 (早坂 大亮・ジタンゴナン)
● 環境化学 (城島 透・森 美穂)

- 森林資源学 (松本 光朗・井上 昭夫・澤島 拓夫)
● 国際開発・環境学 (松野 裕・木村 匡臣)
● 環境政策学 (鶴田 格・前潟 光弘)

生物機能科学科

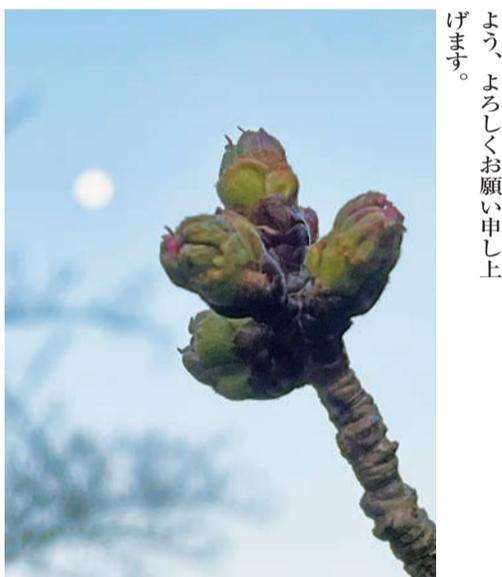
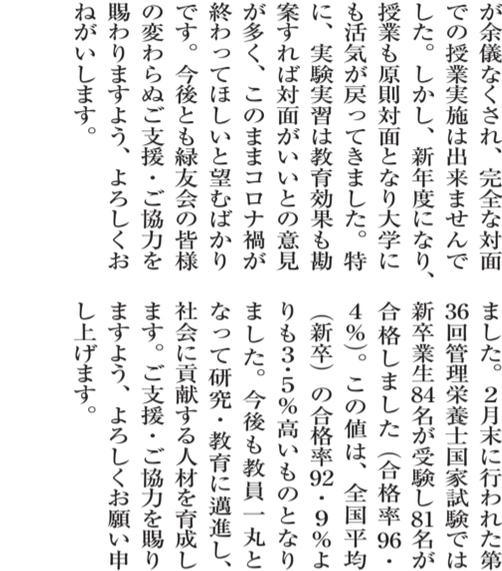
- 植物分子生理学 (田茂井 政宏・佐古 香織)
● 植物分子遺伝学 (川崎 努・山口 公志)
● 動物発生工学 (加藤 容子・谷 哲弥・岡村 大治)

- 生体分子化学 (大沼 貴之・武田 徹)
● 動物分子遺伝学 (佐渡 敬)
● 分子生物学 (篠原 美紀・加藤 明宣・松寄 健一郎)
● 生物有機化学 (北山 隆・柏崎 玄伍)

教養・教育基礎部門

木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・ロバートジョーンシェリダン

下線：新研究室、新任



生物機能科学科

学科長 田茂井 政宏

当学科は、令和4年度はメンバー構成に変化はなく、15名の教員が動物・植物・微生物

物など多様な生物がもつ様々な機能や物質、またそれらを制御する仕組みの解明や応用に着目した研究に日々邁進しております。コロナ禍での教育活動も3年目に突入り、教員・学生の双方に新たなスタンプタードができてつつありますが、4月から対面での授業や学生実験・卒業研究が実施されるにつれてキャンパス内には笑顔の学生が多く見られるようになり、少しずつ以前の生物機能科学科の風景に近づいてきた感じがしています。



まだまだ手放しで安心できる状況ではありませんが、今後とも、卒業生の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新任の挨拶

農業生産科学科 花卉園芸学研究室 助教 山崎 彬

令和4年4月1日付で農業生産科学科、花卉園芸学研究室に助教として着任しました。以前は京都大学農学研究所の附属農場で、高温ストレス下での園芸生産に関する研究をしておりました。また、農場実習など実際の農業生産技術を学ぶ科目を担当し、教育・研究の経験を積み重ねてきました。

私は基礎研究に取り組むのは勿論のこと、その知見を応用し社会や産業を変える方法を想像することも重要であると考えています。地球温暖化や施設栽培の導入によって、園芸の栽培環境は変わりつつあります。植物の環境応答を掘り下げ、新しい環境へ適応した生産体系の構築に貢献したいです。また実学教育を体現し、実践的な教育・研究活動を通して、社会で活躍できる人材育成に取り組むたいと思っております。授業設計や講義の方法、研究室運営など、試行錯誤で悩む日々が続いており、まだまだ足りない点も多いですが、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

水産学 水産利用学研究室 講師 田中 照佳

このたび講師として着任し、10年ぶりに母校である近畿大学農学部に戻って参りました。私は食品機能学や細胞生物学を専門分野とし、骨粗鬆症や糖尿病等の生活習慣病に有効な成分の探索などの研究を推進して参りました。ウイスコニンシン大学や福島県立医科大学、長浜バイオ大学にて研究に取り組み学生の教育を担当する機会も頂き、研究者としても教育者としても大きく成長できたと自負しております。これもひとえに近畿大学のおかげであり、恩返しのために母校へ戻ってきたと申し上げても過言ではありません。私は近畿大学OBの一人として学生諸君に私の知識や経験の全てを惜しみなく授け、基礎力と実践力を備えて豊かな社会の実現に貢献できる「水産学のプロ」の育成と輩出を目指します。また、研究においては、農学部が位置する奈良県の資源、近畿大学が有する近大マグロなどの成果物を最大限に活用し、奈良県や近大のさらなる活性化を目指して参ります。

食品栄養学 生体機能学研究室 教授 佐久間圭一朗

令和4年4月1日付で食品栄養学に教授として着任致しました。佐久間圭一朗と申します。私は、平成10年に京都大学医学部を卒業後、同大学院在籍中を含む9年間、内科医として患者さんの診療にあたりました。その後、前職である愛知県がんセンター研究所にて、がん進展の分子メカニズムの解明と新規治療標的分子の同定を目指して、基礎研究に取り組んで参りました。食品栄養学では、前任の上嶋繁先生の後を継ぎ、疾患学や生理学実験などの医学的内容を含む講義・実習と、卒業研究等を担当させて頂いておりました。これまでに培った臨床と基礎研究の経験を活かして、農学部ならびに食品栄養学の教育と研究の発展に貢献する所存です。私自身も、本職が初の大学教員職となり、発展途上の身にございます。諸先輩方から多くの事を吸収して成長したいと考えておりますので、緑友会の先生方には、ご指導とご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

食品栄養学 契約助手 濱田 希

4月1日付で食品栄養学の契約助手として着任いたしました。濱田希と申します。昨年度まで学生として本学部に4年間通っており、慣れ親しんだキャンパスではありますが、学生とは違う立場ということで気の引き締まる思いです。また、学生時代大変お世話になった先生方と一緒に働けることは、とても心強く感じています。私自身、本学部で過ごした4年間は多くのお出会い、学びがあり、とても充実した学生生活を送ることが出来ました。その充実した学生生活を送ることが出来たのは友人はじめ、親身になって支えてくださった多くの先生方の存在が大きいからです。私も学生たちがより良い学生生活を送ることが出来るようサポートしていきたいと思っております。また、1日でも早く学生、先生方のお役に立てるよう、努力してまいります。至らぬ点も多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

食品栄養学 契約助手 岡林 優里

令和4年4月1日付で食品栄養学の契約助手として着任いたしました。岡林優里と申します。3月まで学生として過ごした近畿大学で、今年度からは助手としてお世話になることになりました。通いなれた場所ですが、教員として通う近畿大学は今までは違い、戸惑いながら日々を過ごしております。在学中はスポーツ栄養について勉強しており、今後も継続して研究活動をしていきたいと考えております。卒業したばかりの私が学生に対してできることはまだまだ

だ少ないですが、学生から一番近い存在として、精一杯サポートしていきたいと思っております。

環境管理学科 水圏生態学研究室 准教授 宮崎 佑介

令和4年4月1日付で環境管理学科の水圏生態学研究室に准教授として着任いたしました。宮崎佑介と申します。前任校の白梅学園短期大学では保育者志望の学生を受け持ち、自然環境に関わる領域を担当して参りました。その前任校の建築の精神として「ヒューマニズム」が掲げられており、個々の学生の利益を考えた関わりが追求されていきました。近畿大学農学部における教育においても、前任校の経験を活かした学生との関わりを展開してまいります。

新任の挨拶

前農業生産科学科 教授 林 孝洋

近畿大学農学部には2009年4月より13年間お世話になりました。農業生産科学科では園芸療法士の資格取得



して参りました。その前任校の建築の精神として「ヒューマニズム」が掲げられており、個々の学生の利益を考えた関わりが追求されていきました。近畿大学農学部における教育においても、前任校の経験を活かした学生との関わりを展開してまいります。

また、私の志は生物多様性の解明と生物多様性保全の普及啓発の二本柱からなります。前者としては主に魚類分類学・生態学等の研究から、後者については自然体験活動の教育効果の検証から貢献できるように、これまで同様に努めて参ります。自身と同じような志をもつ学生とともに挑戦し続けますので、みなさまの暖かいご助力を賜れますと幸いです。何卒、宜しくお願い申し上げます。

前水産学 教授 塚正 泰之

本年3月末で25年間お世話になった農学部を定年退職いたしました。緑友会会員の皆様、農学部在籍された教職員の皆様には、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。1997年に講師として赴任した当時は少なかった水産学部の志願者数は、現在、農学部で最多が続いています。その最大の要因は、水産研究所のクロマグロ完全養殖の達成であり、その後10年間にわたって水産学と水産研究所が協力して推進した21世紀、グローバルCOEプロジェクト研究が、近大・水産の知名度を全国区に押し上げたことにあると思っております。プロジェクト研究のメンバーとして参加し、他の教員、博士研究員、学生らと共に多くの研究成果を挙げることができ、農学部・水産学部の発展に多少でも寄与できたことを誇らしく思います。また、近畿大学に勤められたこと自体が幸運だったと思っております。最後に、農学部と緑友会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

前食品栄養学 教授 上嶋 繁

緑友会会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。私は、農学部18年間勤務いたしました。その間管理栄養士の養成と、食品や食品成分の病態生理学的機能の解明をテーマに研究を続けてまいりました。おかげさまで、多くの管理栄養士を世に輩出することができ、また論文や学会発表・特許として研究成果を社会に発信することができました。また、学科長として学科の運営に携わり、管理栄養士国家試験の試験委員として厚生労働省から嘱託されたりと、貴重な経験もさせて頂きました。いずれも農学部教職員の皆様および緑友会会員の皆様のおかげと感謝しております。退職後は介護老人保健施設で超高齢者の見守りを行っており、食事と栄養の大切さを改めて痛感しております。農学部で学び、共に研究した卒業生が社会で活躍されることは大きな誇りであり、今後とも緑友会会員の皆様の益々のご健勝と農学部のさらなるご発展を祈念いたします。

前食品栄養学 契約助手 玉手 杏菜

緑友会会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。私は2021年3月に近畿大学農学部食品栄養学を卒業後、同年4月に食品栄養学の契約助手として着任し、2022年3月をもって退職させて頂きました。在職中、農学部の教職員の皆様には一方ならぬご厚情を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。コロナ禍で人と人とのコ

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会では、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与、現役学生の親睦レクリエーション開催協力などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみならずみなさまに寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なおお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。(お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです)

- 振込口座○ 三菱UFJ銀行 富雄出張所 普通 3574857 近畿大学農学部 緑友会
- 連絡先○ 近畿大学農学部 緑友会事務局 電話 0742-43-7273 (2030) E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp
- 寄付者芳名一覧 (2021年度ご寄付分) 李忠儒 様 (校友会 食品支部 相談役) 橋本 和希 様 (昭和49年度 食品栄養学科)

今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。(注) 公開をご希望されない方については、掲載していません。



# 新入生の夢

変化を恐れずに

農業生産科学科

友江 渚

私の家ではサトウキビの栽培から和糖の製造までを行っています。私の夢はこの仕事を継ぎ、より多くの人にサトウキビや和糖の魅力を知ってもらおうことです。しかし、高齢化や人手不足の問題もあり、これまでのやり方で続けていくのは困難な状況になってきました。そのため近畿大学では、防除技術や品種育成、将来の農業・食糧問題を掲げたスマート農業などの先端的な研究の知識を得たいです。そして、新たな方法を取り入れることで、伝統を受け継ぐ農業を実現し、力仕事に苦勞している家族に少しでも楽をしてもらいたいです。

また、私は学生農業団体GAVRIに所属し、野菜の栽培、収穫、販売を行っており、授業では得られない多くの学びを得ています。このGAVRIからの学びを深めていくとともに、資格の取得などさまざまなことにも挑戦したいです。挑戦した結果がどうであれ、将来の自分に必ず役立つはずで、変化を恐れず夢に向かって一歩一歩進んでいきたいです。



私の夢

水産学科

上田 ひかり

私は小さい頃から、生き物が好きでした。水族館や動物園に何度も遊びに行っており、「将来は水族館の飼育員になる」と考えていました。しかし、高校に進学して夢が変わりました。環境改善と保全に関わる研究職に就くという夢です。



農学部で学びたいこと

応用生命科学科

長尾 愛美

農学部での研究は現在世界規模で問題視されているような環境問題やエネルギー問題、食糧問題、健康問題などの様々な課題に幅広く関係し、今一番必要とされているのではないのでしょうか。私自身、微生物に興味があり、微生物の力とヒトとの関係性について研究したいと考えています。そして、それを社会に還元できるような研究にしたいです。入学して数ヶ月、大学の勉強がどれだけ自分から学ぼう

黄金打線を作りたい

食品栄養学科

幸神 光

僕の夢はいつかプロ野球のチームであるオリックス・バファローズの選手を栄養だけでなく、筋トレについても指導できるような人材となることです。

高校時代にラグビーをしていて、トレーナーの方の指導の下で行う筋トレでは、自分の筋肉は喜んでくれていたのに、なぜか脂肪という友達を作ってしまった。「お前じゃない」と鏡の前で言っていた時に、管理栄養士の先生に食事の重要性について教えていただく機会を得て、無闇な食事では意味がないと

将来の夢

環境管理学科

塚本 浩貴

私は、生き物が好きでした。地元が自然に満ち溢れ、幼少期から生き物と関わる事が多かったため、次第と大学では「生き物について深く学びたい」と思うようになり、環境管理学科に入学しました。

今から「将来の夢」を書いたところですが、私には未だ明確な「将来の夢」というものが無く、自分の得意なこと、興味があることが活かせる職業に勤めたいというほんやりとした目標しかありません。ですが、こういう人間になりたいという目標はあります。それは、多角的に物事を考えられる人間になりたいという目標です。以前の私は人の意見よりも自分の意見が正しいという利己的な考え方でした。ですが、「多様性」という考え方が重要視されつつあ

新入生の夢

生物機能科学科

栗林 夏子

私が農学部生物機能科学科に入学した理由は、高校生物の授業がそれぞれの教科よりも楽しく感じ、大学でもっと深く学びたいと思ったからです。幼いころから医療に興味があり、中学校の卒業論文では「ブタからの臓器移植」というテーマで調べたことがきっかけとなり、「医療を細胞レベルで研究をしたい。そして、そのことにより人の役に立てるようにしたい。」と将来を考えるようになりました。受験生になり、様々な大学の情報を集める中で、農学部生物機能科学科の動物発生工学研究室で幹細胞を用いた異種間移植の研究が行われていることを知り、迷わず近畿大学農学部への入学を目指しました。大学に入学後、様々な講義

この新しい気づきもあり、再生医療分野がこれからの医療にとと重要であると改めて考えるようになりました。生物機能科学科では、臓器移植だけではなくiPS細胞から目的の細胞を誘導したりする研究、ゲノム編集やクローン動物に関する研究など多岐にわたる研究をしていることも知り、興味を持ちました。今後、実験・実習・講義を通して様々なことを学ぶことが今から楽しみです。

これらの社会において、自分の意見も持て、尚且ついろんな人の意見を取り入れられ、考えられる人間になりたいと思いい、この目標を立てました。そのために学内生活においては、学科特有の講義で様々な経験・基礎的な知識・技術などを学び、吸収していくこと、日々の生活面においては、定期的に本を読み様々な意見を取り入れる感覚を養うことで、自分の目標を達成させられるのではないかと思います。そして、私たちの代から、本格的に対面授業となり「当たり前」の大学生活というものが取り戻されつつあります。これらの4年間の大学生活、様々な挫折や苦難もあるでしょう。ですが、仲間と研鑽しながら乗り越えていき、目標達成に向けて邁進することで、自分自身の「将来の夢」を見つけ出せるのではないかと考えております。

冷凍のままレンジで簡単調理OK! 熨斗対応承ります

**近大マダイ焼味四種食べ比べセット**

塩焼き/照焼き/西京焼き/柚庵焼き 各2食 **冷凍**

5,000円 配送費込 消費税込

本商品は「持続可能な養殖業による生産物」であることを証明する第三者認証制度であるSCSA認証製品です。

URLまたはQRコードからお申し込みください。  
https://a-marine-shop.com/qr/3977

株式会社 **アーマリン近大**  
TEL 0739-42-4116 https://a-marine-shop.com/

そのおどろき、水族館以上!?

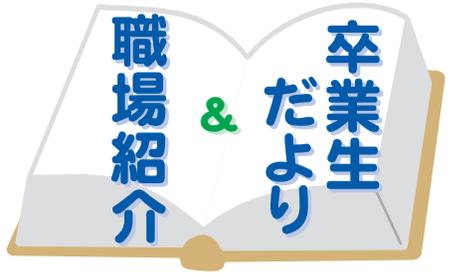
城崎マリンワールド  
KINOSAKI MARINE WORLD

いのちをつなぐ企業

**株式会社アクアテイメント**

aquataiment

06-6955-9681  
info@aquataiment.jp  
代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業



社会人一年生のチャレンジ  
農業生産科(令和3年度卒)  
芝罎 千里

私は社会人1年目で、サラヤ株式会社に入社しました。サラヤは世界の「衛生・環境・健康」の向上に貢献するメーカーで、ヤシノミ洗剤、カロリーゼロの自然派甘味料ラカントS、速乾性アルコール手指消毒剤など多数の商品を扱う会社です。また、社会問題の解決にとっても積極的な会社です。このチャレンジ

新規殺虫剤の創製を目指して  
農薬研究用生命化学専攻(平成30年度卒)  
奥原 大樹

私は現在、石原産業株式会社で、新規殺虫剤の探索や既存殺虫剤の作用機構解明に関する業務に従事しています。学生時代は生物制御化学研究室で昆虫のイオンチャネルに関する研究に取り組み、楽しいことも苦しいことも経験しました。研究室のメンバーとは今でも仲が良く、仲間にも恵まれました。昆虫のイオンチャネルは殺虫剤の主要な作用点であり、学生時代の研究を活かせる仕事ができることを幸せに感じています。農業は、安定した食料生産や労働時間の低減などに不可欠なものです。標的生物の農薬に対する抵抗性の発達を遅

グな姿勢に惹かれ入社を決意しました。そして現在、私は病院に商品提案・販売する営業の部署に所属しています。社会人の心構えやビジネスマナーを学ぶ新入社員研修を終えて、今は先輩の営業を同行させていただき日々勉強をしています。また、MR(医薬情報担当者)の勉強も並行して行っています。私が所属している部署は感染管理認定看護師を始めとするスペシャリストを顧客とする機会が多く、専門性の高い会話を求められるからです。入社当初は自分に業務が務まるかとても不安でいっぱいでしたが、今は優しい先輩方のおかげで経験を積みながらとても楽しいです。分からないことや困っていることがあると、年齢や部署を問わず声をかけて下さる社風です。今は覚えることが多く大変ですが、早く一人前になれるようにチャレンジ精神を持って頑張っています。

私は大学を卒業後、滋賀県庁に入庁し、今年で2年目になりました。現在は、滋賀県の農業推進に携わる部署に配属され、「環境こだわり農業」を推進する業務を主に担当しています。

「環境こだわり農業」とは、農業や化学肥料の使用量を通常の半分以下にすることをはじめ、環境に配慮した様々な工夫を重ねた、琵琶湖にも人にもやさしい農業です。特に、「環境こだわり農業」で作ら

積み介護福祉士の資格を取得したうえで、管理栄養士の資格を生かし訪問介護に取り組みんでいます。現在は管理栄養士として施設を利用されている方の食事を見るだけでなく、ご自宅を訪問し食事指導や相談などの食支援を行っています。実際に訪問に行かせていただく、利用者さんや家族さんは食材の買い物に行けない、食事の準備が大変で偏った食事になってしまう、家で一人だと楽しく食べる、家でできず食事が減ってしまうことなど様々な悩みを抱えて生活されています。それぞれ立場や思いに寄り添いながら、食事の提案を行うよう心がけています。また、食事のことだけを切り取って支援するのではなく、食を含めた生活全体を支えていくためにへ



琵琶湖にも人にもやさしい農業の推進  
水産学科(令和2年度卒)  
大橋 広実

れた「コシヒカリ」を「環境こだわり米こしひかり」として広く販売するための業務では、営業の難しさを実感しつつも、積極的に挑戦できる環境の下で仕事ができ、やりがいを感じています。また、県民の皆様や各関係機関等の様々な立場の方々と直接関わる機会が多いため、それぞれ

今後も、関わる皆様とのご縁やこれまでの経験を大切にしながら、滋賀県の農業推進をはじめとする業務に貢献できるように頑張ります。

私は、環境管理学科に在学中に出会った小学校の頃から野菜作りに励む熱心な同級生と、大学卒業間近に農業法人株式会社ゲミューゼを設立しました。ゲミューゼとは、ドイツ語で野菜を意味し、ロゴマークにある文字が笑顔に見えることから、野菜を通して笑顔になつて貰いたいという意味も込めて、この名前になりました。在学中に、学生農業団体として始めたのが、ゲミューゼの始まりでした。現在、農業法人ゲミューゼでは、奈良市と和歌山市を拠点に農場を持ち、農産物の生産(施設トマトや有機栽培ニンジン等)、販売や障がい者福祉施設との農福連携、食農教育等の幅広い農業関連事業をさせていただいています。法人設立から5年が経ち、



農関連産業の最前線  
環境管理学科(平成28年度卒)  
藤井 宏次

6年目を迎えるようになっています。農業は大変な仕事ではありますが、手をかけた分やりがいや達成感は強く感じます。農から始まる新たなつながりをキーワードに、これからも奈良で農業を続けていこうと思っています。

私は片山化学工業株式会社という会社に勤めています。片山化学工業は創業100年を越えた化学メーカーで、研究者をサポートするディバイ部門、化成品や医薬品原料の製造、機能性リン化合物やリポソーム技術の研究開発から製造までを行うメーカー部門の2本の柱から成り立っています。

リン系難燃剤の研究  
農薬研究用生命化学専攻(平成29年度卒)  
北村 優斗

機能性リン化合物は、プラスチックやゴムなどの可燃性素材に添加したり、電子基板等に塗布したりする



ことでそれらを燃えにくくすることのできる素材難燃剤)として主に使用されています。電子基板に塗布して使用するため、苦戦することも多いですが、学んだことを生かしてより良い難燃剤を作れるよう励んでいます。現在は高評価が得られた化合物の大量製造も担っています。研究室での少量実験とは異なり、一筋縄ではいかないことが多いですが、新たな挑戦ができることに喜びを感じています。

# 近畿大学校友会 食品支部 会員募集中!

食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友会によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

昨年度も長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛を余儀なくされ以前の様な活動が出来ませんでした。しかしながら、今年度は様々な規制も緩和されてきましたので、感染予防を意識したウイズコロナで活動を少しずつ再開していきます。ご校友の皆様との輪が更に広がる様、当支部活動へのご参加を心よりお待ちしております。



一支部概要  
設立 平成26年6月7日  
支部長 酒井 恵二  
年会費 10,000円  
会員数 120名 (令和4年3月31日現在)  
連絡先  
【事務局】  
立花容器株式会社  
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1  
TEL 0866-82-3300



2014年11月29日に第1回総会を開催し、ここから緑友会様との輪が広がっています。  
近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内  
公式Facebookを開設しております。校友会食品支部の様々な活動や情報をお届けしています。近畿大学校友会 食品支部

# 在学生だより

## 大学生活への期待

農業生産科学科  
花井園芸学研究室4年生  
福富 健人

私の大学生活のこれまでに振り返ると、正直、あつという間でした。4年生になったという実感はなく、2年生くらいの思いでいます。ただ、今後の大学生活への期待はそれよりも大きいと思っています。

これまで、私にとって大学は「授業を受ける場所」という認識がありました。今では「研究に打ち込める場所」だ

## 最高の時期

水産学  
水産生物学研究室4年生  
清水 遥斗

これまでの大学生活を振り返ると最高の3年間でした。一年生の時は、高校生の時より広がる友人の幅、魅力的なサークルと素敵な先輩、および学びたかった専門的な講義などの「輝き」が今でも頭から離れません。しかしコロナのため、二年生からは全ての生活が変化し、その「輝き」が失われたように感じましたが、辛いことも友人と励まし合いながら堪えることができました。三年時に研究室に所属され、卒業研究を開始しました。



と感じます。また、研究を通して人との繋がりも感じるようになっていきます。このように、大学への認識が変わると、この自然豊かな近畿大学農学部が、時間がのんびり流れているようで心地よく感じられます。最近は、用事の無い日も大学に来てのんびりするくらいお気に入りです。

これまでの大学生活の思い出は、大学以外のことがばかりですが、今からでも大学で、思い出にのこるようなことがまだまだ経験できると考えています。今後はさらに学んで、

現在、就職活動と卒業論文の執筆など忙しいですが、



将来、大学で感じた「輝き」を、人に提供出来る人間になる為に邁進していきます。



## 後輩へのアドバイス

応用生命化学科  
森林生物化学研究室4年生  
森口 彰仁

僕はこの大学4年間で体験したこと、学んだこと、思ったことなどを基に大学生活が良いものになるようにアドバイスを書いています。友達や様々な事を相談できる人を作ってください。大学では、様々な授業や難しい課題などの学習面、アルバイトや一人暮らしなどの生活面で皆さんの悩みや不安が出てくる場合があります。そこで、相談できる友人や人を作ることで、悩みの共有や不安の解消につながると思いますので、ぜひやってみてください。また、学内のカウンセラーや学生担当などに相談するのも重要です。次に、いろいろな事柄において早めの行動をしてみてください。大量のレポートやその他課題、就職活動、資格取得にも役に立つと思います。あらかじめレポートになりそうなことを調べる、課題が出された直後に取り組み、受けた企業・団体の応募書類を作っておくなど、早めに取り組みばチェック、修正や他の事に時間を費やす事が出来ず、色々な人からアドバイスを受けると思えますが、取捨選択してより良い大学生活を歩んでもらえればと思います。

## 私の大学生活

食品栄養学  
病態栄養学研究室4年生  
河合 晶帆

私が食品栄養学を目指したのは、家族ががんを患ったことがきっかけでした。私たちに最も身近な食を通じて、同じように病気で苦しむ人を助けたいという思いから、管理栄養士を志しました。現在はトリプルネガティブ乳がんの細胞に食品を投与すること、がん細胞の増殖や血管新生を抑制することを目的に研究をしています。毎日忙しく、予想通り行かなくて申し訳ないことも多いですが、念願だったがんの研究に携わることができ、充実した日々を送っています。研究や国家試験の勉強を進めていくと、学んできたこと一つ一つの点が

## 好奇心の赴くままに

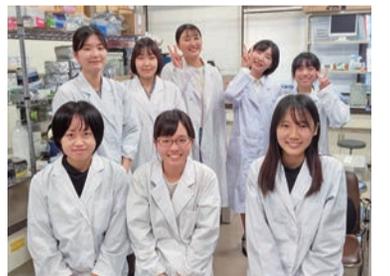
環境管理学科  
環境政策学研究室4年生  
生駒 志郎

水質調査の面白さを学んだからには、と意気込んで入学した私の研究テーマがプランド育成になってしまふ。我が学科のなんと自由なことかと感慨にふけりながら筆をとる。

私は学生団体「灯と奈菜」

今後はこの魅力的な活動と

線となつて繋がる瞬間があり、知識を深めていくことの面白さを実感しています。コロナ禍で思うように学校に行けないことも続いた大学生活でしたが、同じ目標に向かって頑張る仲間がいること、全力で勉強や研究に向き合える環境があることに感謝して、残りの大学生活も思い切り楽しみたいと思います。



## 生き物のために

生物機能科学科  
動物発生工学研究室4年生  
中田 悠人

僕はもともと生き物に興味があり、近畿大学農学部に入学しました。また、部活動として生物研究会にも所属し、これまで、実際に近辺の山に行き様々な生き物を捕まえたがり、たくさんの人に生き物の良さを知ってもらうために展示会を開くなどの活動を行ってきました。

このような活動を通して、生き物の保全に興味をわき、細胞レベルでの生物の保存に関する研究ができるという理由から、動物発生工学研究室を選びました。



## 緑友会会報原稿募集のお願い

緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。

できるだけたくさんの方からの寄稿をお待ちしています。

原稿の形式は特に問いません。お気軽にお寄せいただければ幸いです。

緑友会事務局又は、  
研究室の先生宛にご送付下さい。



連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局  
〒631-8505 奈良市中町3327-204  
電話 0742-43-7273 (内線2030)  
メールアドレス  
ryokujim@nara.kindai.ac.jp

## 緑友会名簿訂正(変更)届

氏名	卒業学科	年度
所属研究室		
現住所	(〒 )	( ☎ )
勤務先	会社名	住所 (〒 ) ( ☎ )

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。  
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局  
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

# 大学院生だより

## 私が社会にたいして出来ること

農業生産科学専攻博士前期課程  
花卉園芸学研究室  
池本 真優

大学院に進学して1年が過ぎました。宿泊実習や農家民泊の経験を通して農業での地域振興を持ち、研究室分属の際に細川先生に相談しご提案頂いたのが、今の研究テーマである「チヨロギの新規栽培体系の確立」です。短期栽培かつ作業負担が軽い栽培体系を作り産地形成を容易にすることで、将来的に地域の特産品として地域振興に活用することを目的としています。私



が携わるのは短期栽培に向けた研究を進めることですが、苗を提供した姫路市の助野地域では、農家の方が地元スーパーでの販売や地域の特産品と合わせた商品開発などを行っています。私の研究が地域振興の一助になれていると考えると俄然やる気が出ます。



学部3年から圃場や室内での栽培を開始し、0から実験を組み立てていくことに苦労しましたが、研究に打ち込み1歩1歩確実に進んできました。近畿大学・大学院で過ごした6年間を誇れるように残りの時間も研究や後輩指導に注力したいと思っています。

## 夢を諦めるな 柿ワイン商品化への道

応用生命科学専攻博士前期課程  
応用微生物学研究室  
大西 徹

柿ワインは柿果実を原料にした果実酒であり、棒の研究室では過剰生産や傷があることなどの理由で廃棄される柿果実を用い、醸造で用いる微生物である酵母も近大で取得したオリジナルのものを使用した柿ワインの商品化を目指した研究開発を進めています。僕は大学3年生の時に現在の研究室に配属されて以来、柿ワインの研究開発に携わってき

ました。開発を進める中で研究室と実際の製造現場の間には規模や設備の関係で様々なギャップがあり、それらのギャップは製造コストに直結するものであったため商品化のためには多くに壁が存在している期間内の商品化は難しいかなと思っていました。しかし、粘り強く行った研究によりそれらの壁を乗り越えていくことで、テスト販売ではありますが今年の春に無事商品化を達成することが出来ました。成果がすぐに出なくても、諦めず取り組みれば成果



はいつの間にか出ているはず  
です。夢を諦めるな！



私は現在、水産研究所の白浜実験場に在学しています。水産研究所を選んだ理由ですが、もともと魚の飼育技術に興味があったので、大学3年生の研究室配属の際に白浜実験場を選択しました。そして自身の卒業研究をより深化させつつ、さらに増養殖技術を学びたいという思いから大学院進学を決めました。

院生として早1年半、様々なことを学びました。特にクエやクエタマの親魚へホルモ

## 水産研究所での院生生活

水産学専攻博士前期課程  
水産増殖学研究室  
森下 尊将

ン処理を施し、採卵や人工授精、種苗生産、海上生簀への沖出しから出荷といった完全養殖の流れを実際に体験したことは、海がすぐそばにあり、通年白浜で過ごす研究所の院生ならではの経験です。また、現場で働く職員の経験やアドバイスを自身の研究へ反映でき、増養殖現場に近い水産研究所だからこそできる研究活動だな...と実感します。

院生生活も残すところあと半年、今まで以上に研究に邁進しつつ、増養殖技術をさらに学べるよう努力していきたいと思っています。

## 未来に向けて

応用生命科学専攻博士前期課程  
栄養機能学研究室  
田口 達博

私は現在、「お母さんのお腹の中で低栄養に曝された子どもの成人後における生活習慣病発症とその予防」について研究を進めています。日本では、妊娠中の女性のやせによって胎児が成長するために十分な量の栄養素を得られないことが問題になっており、その母体から生まれた

## 覚悟と希望の2年間

バイオサイエンス専攻博士前期課程  
生体分子化学研究室  
高木 茉優

私は所属する研究室において、遺伝子組換え微生物に作らせた「酵素」を用いた、美白成分の合成に関する研究を行っています。人々が悩まされる肌のしみは、紫外線でメラノサイトが活性化され、そこでチロシナーゼが働き過剰なメラニンを産生した結果生



自分の外見を変化させ自信に変えることのできることに魅力を感じ、化粧品業界への就職を考えていた学部4年生の頃、この研究テーマと偶然に出会いました。そして、もともと知りたいという探求心一つで大学院進学を決意しました。しかし、この決断は一人では成し得ませんでした。どんな時でも私の意見を尊重してくれた家族、辛い時に励まし合った友人、進路相談に乗ってくださった先生方や先輩方のおかげです。研究生活の中で、既に何度も挫折しそうになりましたが、感謝の気持ちを原動力にして2年間走り切りたいと思います。



## 大学院生として

環境管理科学専攻博士前期課程  
生態系管理科学研究室  
長野 光希

私は、温暖化が生物の環境適応にもたらす影響プロセスの理解にむけた研究に取り組んでいます。昨年、IPCから「人間の影響で温暖化したことは、疑う余地がない」というシヨッキングな



発表がなされました。温暖化への対応は、性別・人種・職業を超え、世界全体で早急に行われるべきものです。しかし、この問題はさまざまな要因が複雑に絡むため、全貌解明にはほど遠いのが実情です。私たちの英知を結集してこの難題に立ち向かうべく、知見の集積は欠かせません。私はまだ、知識や経験が十分ではありません。しかし、温暖化影響の理解とその対策に貢献したいという意志は誰にも負けません。環境管理科学専攻は私の理想を具現化するのにまたとない最適な場です。高い志を持つ仲間とともに、楽しみを感じながらも真剣に、温暖化がもたらす生態影響の理解につながる成果を挙げられるべく、研究に邁進してまいります。



結晶化したタンパク質を観察中の筆者（上）  
研究室の仲間と（下）



# 緑友会ゴルフコンペ

令和3年9月12日(日)に第5回令和4年3月6日(日)に第6回緑友会ゴルフコンペを開催しました。

まず、ゴルフ愛好会会長の村上先生から開催の挨拶、次に、開催委員長の西原さんからルール説明があり、ドキドキしながら1番ホールへ。くじ引きでスタートの順番を決定。こんな時だけ1番をゲット。参加者全員のプレッシャーを受けながら、ゆっくりにいいの、フルスイング！ボールの行方は・・・どこに飛んでも大丈夫。ボールは1ダース以上もつてますから・・・。



京阪カントリークラブ



加茂カントリークラブ

参加者の腕も色々で、シングルプレーヤーから140台のコストパフォーマンス重視のプレーヤーまで揃っています。コンペの開催は、3月と9月の第1日曜日を基本としています。

春のコンペは加茂カントリークラブ、秋のコンペは京阪カントリークラブで開催しています。

ご自分の腕を試したい方、これからゴルフを始めようと考えておられる方、ご家族やご友人の参加も、大歓迎です。皆様からの連絡をお待ちしております。

## 第12回KINKAN会

### イベントを終えて

食品栄養学科の卒業生で構成される「KINKAN会」イベントを令和3年11月3日に開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大から1年以上が経過し、withコロナ時代としてネット環境が普及しました。今年度も昨年度に引き続き昨今の状況を鑑みオンライン形式で開催しました。

今年度のテーマは、「コ

ロナ禍での卒業生活動報告」として、職域別(小学校、保健所、海外企業)に管理栄養士として働く卒業生3名より講演いただきました。

小学校では、「給食を楽しい時間に」をモットーにコロナウイルスの影響で制限された学校生活での工夫や活動について講演いただきました。

保健所では、新型コロナ

ウイルス感染症への対応と、感染状況に応じた栄養・食育活動業務について講演いただきました。

また、海外企業では、日本と海外での食に対する価値観の違いなど海外に在住されているからこそ伝えられるお話をいただきました。

ご講演いただいた方にもリモートにてご発表いただき、またオンライン開催の利点を活かし、イベントには関西だけでなく遠方の地域、そして海外にも卒業生が繋がることができました。

私たちは、2人が出会った農学部で、結婚式の前撮りを行わせていただきました。久しぶりに訪れた母校は、卒業から4年しか経っていませんが、大きく変わったところもあり、懐かしさを感じながらも新鮮な気持ちで撮影させていただきました。

笑いあり、幸せあり、笑顔しかない本日に楽しい1日を過ごさせていただきました。

ご担当下さった方は、いち卒業生のために場所の提供や準備だけでなく、私たちのこれからを応援してくださいました。前撮りでさえも人生における大切なことをたくさん学ばせていただき、農学部はどこまでも学びの場であると感じました。そして農学部は、大切な仲間や人生のパートナーと出会えた場所であるだけでなく、先生や大学運営を支えてくださる方々まで本当に心温かく、素敵な場所であることを再確認しました。ここで貴重な4年間を過ごす



また、今回のイベントは新たに「見逃し(オンデマンド)配信」として当日に参加できなかった方のための取り組みも始めました。

お忙しい中ご参加くださいました先生方、卒業生の皆様、誠にありがとうございました。今後ともKINKAN会イベント開催の詳細につきましては、各期の運営委員より随時ご連絡いたしますので、皆様是非ご参加ください。

# 緑友会会員からの近況報告

平成29年度 食品栄養学科卒業  
安井翔之介  
藤田 未羽

ことができなくなったこと、本当に嬉しく思います。そして、このようなご無理なお願いを叶えてくださいましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

農学部はそんな温かい場所です。後輩の皆さんは、農学部生であることに誇りを持ち、学びにバイトに遊びに、将来のために一歩ずつ歩んでほしいと思います。

この度は、私たちの大切な日を彩ってくださり、本当にありがとうございました。

# 農学部祭の案内

今年も毎年恒例となりました「農学部祭」の季節がやってまいりました。今年度の農学部祭は11月1日(火)から11月3日(木)までの3日間開催する予定です。日程におきましては、1日を、在校生を主体とする体育祭を、2日・3日を、一般来場者を含む文化祭を行う形になっております。文化祭においては、昨年度はオンラインメインでの開催でしたが、今年度は対面開催を検討しております。農学部祭の企画として、毎年恒例の大型ステージにおけるお笑い芸人の漫才やアーティストライブ、在校生に参加を募りジャンルを問わないパフォーマンスを披露していただくパフォーマンス大会など賑やかな行事を検討しております。また、今年度は、昨年度は開催されなかった各研究会系クラブ団体の展示会や部活や模擬店やマグロの解体ショーを初めとする収穫祭も検討しております。卒業生の皆様



方や地域住民の方々、在校生全員が楽しめる農学部祭を農学部祭実行委員会が中心となり、農学部生一丸となって作り上げていこうと思います。当日の皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。

最後になりますが、コロナウイルスの感染状況により農学部祭を中止する場合がありますので、ご了承ください。詳細につきましては、HPをご覧ください。



## 令和3年度近畿大学農学部緑友会事業報告

月日	項目	場所
4月13日	運営委員会	遠隔会議
5月11日	終身会費納付書発送 (655通)	
7月17日	幹事会	205教室
	1) 令和2年度事業報告	
	2) 令和2年度決算報告	
	3) 令和3年度事業計画(案)	
	4) 令和3年度予算(案)	
5) その他		
8月20日	終身会費納付書2回目発送 (431通)	京阪カントリークラブ
9月5日	緑友会ゴルフコンペ	
9月10日	会報第26号会員へ発送	
令和4年1月7日	終身会費納付書4回目発送 (301通)	
2月4日	終身会費未納者を6学科に通知	
3月1日	委員会	遠隔会議
3月6日	緑友会ゴルフコンペ	加茂カントリークラブ
3月17日	緑友会賞授与	

## 令和3年度近畿大学農学部緑友会決算

<卒業生部会> (単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,006,192	郵便費	1,434,200
終身会費(遅延6名分)	60,000	印刷複写費	1,510,867
終身会費	4,200,000	会議会合費	11,372
広告掲載料	60,000	人件費	1,001,000
同窓会活動助成金(4回×50,000円)	200,000	緑友会賞	130,000
寄付金	30,000	雑費	130,000
利息	65		
		支出の部計	4,161,499
		次年度繰越金	7,394,758
合計	11,556,257	合計	11,556,257

会計幹事 武田 徹 会計幹事 永田恵里奈  
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。  
令和4年 3月31日

監事 小林 徹  
監事 谷 哲弥

**緑友会Facebookのご案内!!**

- 農学部情報や卒業生の活躍など掲載
- 卒業生向けイベント情報も発信
- 母校の成長をリアルタイムで確認

ぜひシェアをお願いいたします! → → →

